

宜野湾市 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

宜野湾市地域学校協働本部

小学校9校

(普天間小学校、普天間第二小学校、大山小学校、大謝名小学校、嘉数小学校、志真志小学校
宜野湾小学校、長田小学校、はごろも小学校)

中学校4校

(普天間中学校、真志喜中学校、嘉数中学校、宜野湾中学校)

活動の概要

特別支援学級イベントサポート

各種授業補助(裁縫、絵画、水泳他)

夏休み絵画教室

地域探検引率

社会科見学支援

運動会に向けたエイサー指導

平和集会講師

新1年生給食配膳サポート

クラブ活動講師

運動会衣装修復

健診サポート

新体力テストサポート

「浮いて待て」指導

環境講話

職業人講話

不登校傾向生徒の体験活動

放課後の居場所づくり

職場体験受け入れ先探し

花壇の手入れ

面接指導支援



夏休み絵画教室



ドローン操作体験



裁縫授業補助

◆工夫していること

- ・コーディネーター連絡会において、情報交換を図り、活動の活性化に努めている。
- ・学校管理職OBの統括コーディネーターとともに学校訪問し、学校と地域について、意見交換・情報共有するよう努めている。
- ・市長部局と連携して開催した「ぎのわん地域づくり塾」にコーディネーターが積極的に参加し、地域のことについて、学び合いを深めている。

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【コ】放課後や夏休み期間における学校施設を利用した活動が広がっている。
- 【コ】コーディネーター間においてSNS等の活用により情報共有がスムーズになっている。また、コーディネーター間のサポートも増えてきている。
- 【教委】統括コーディネーターとともに学校と意見交換・情報共有したことが、全小中学校への地域コーディネーター配置につながった。
- ☆【教委】地域や学校における地域コーディネーターの存在感をより高め、地域学校協働活動のさらなる活性化を図っていきたい。

石垣市 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

石垣市地域学校協働本部

小学校1校(石垣小学校)

中学校4校(川平小中学校、石垣第二中学校、白保中学校、富野小中学校)

活動の概要

【石小つなぎっ子】(石垣小学校)
申込生徒数20人 支援員1人
地域の方を講師にスマムニ学習を実施。
毎週水曜日(15時~16時)



【川平小中学校未来塾】
毎週水曜日(数学)15:15~16:45
登録生徒数 12名



【石垣第二中学校未来塾】
毎週木曜日(数学)16:00~18:00
登録生徒数 28名

【白保中学校未来塾】
毎週土曜日(個別指導学習)16:00~18:00
登録生徒数 56名



【富野小中学校未来塾】
毎週水曜日(英語)15:30~17:30
登録生徒数 7名

◆工夫していること

これまでは受験対策として中学3年生を対象に実施していたが、毎日の学習習慣の定着を目標として1~3年生を対象とした。
小中併置校では、小学生にも声掛けし、中学生と一緒に学習している。



成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

○【学習支援員】未来塾を数年しているのので、やっと子ども達に認知されはじめ、積極的に出席するようになってきた。

【スマムニ学習支援員】小さい子は間違ってもいいのでどんどんスマムニを使うので、こちらも嬉しい。

☆毎年、学習支援員の確保と使用する教室の確保に困っている。

☆地域コーディネーターの配置

浦添市 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

浦添中学校区地域学校協働本部(浦添中、浦添小、前田小)
仲西中学校区地域学校協働本部(仲西中、仲西小、浦城小、宮城小)
神森中学校区地域学校協働本部(神森中、神森小、内間小、沢岬小)
港川中学校区地域学校協働本部(港川中、牧港小、港川小)
浦西中学校区地域学校協働本部(浦西中、当山小)

活動の概要

1. 学習支援

- ・定期的な教材園、花壇整備
- ・学習支援ボランティアの配置
- ・蝶園(オオゴマダラ)の飼育支援
- ・不登校児童生徒の登校、学習支援
- ・浦添市立中央公民館の平和キャラバン事業を活用した平和学習
- ・放課後学習支援終了後食事提供
- ・総合的な学習「地域を知ろう」「地域の歴史や文化、伝統芸能等を学ぶ」で「こいのぼり」を作り地域の祭りに参加、十五夜祭の講話、伝統芸能の空手・獅子舞・棒術の指導を受け運動会で披露
- ・クラブ活動(琉舞・ヨガ・書写等)
- ・朝の読み聞かせ



▲獅子舞保存会による練習(内間小)

2. 地域交流

- ・企業によるトイレ清掃指導
- ・新入生の給食準備支援とコース別下校支援
- ・伝統行事や祭りへの参加、自治会活動への参加
- ・児童センター、地域、高校と連携した防災学習
- ・ボランティアを招いて感謝集会を開催

◆工夫していること

- ・感謝集会を行い地域の方々へ感謝の気持ちを伝えている。
- ・HPで随時ボランティア活動報告を発信し情報共有している。
- ・「地域人材活用計画表」を作成し職員間で情報共有している。
- ・定期的に職員と地域コーディネーターの情報交換の場を設けている。
- ・地域やボランティアの所へ足を運び学校の思いを届けるようにしている。
- ・SNSを使って地域コーディネーターと情報交換している。
- ・他校のボランティアが集まる場へ出向いて交流を図っている。
- ・近隣の学童や児童センターとの連携協働



▲ボランティアサークルによる読み聞かせ(浦西中)

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 生徒が「地域に見守られている」ことを実感している。
- 学校運営協議会との連携によって多くの地域協働活動を実施できている。
- 地域コーディネーターと地域連携担当が情報交換を密にし協力体制が一層充実した。
- ボランティアが入ることで児童の安全面が守られ、水泳学習や探検等の活動もできるようになった。
- ☆学校の環境整備への地域の方々の継続した関わり(卒業生〇〇期生ごとの参加等)
- ☆地域連携室の活用を増やし情報交換や交流の場を作りたい。
- ☆地域交流や体験活動が一過性のものにならないよう、総合学習において学年間の系統性をもたせたい。

名護市 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

緑風学園学校運営協議会、屋我地ひるぎ学園学校運営協議会、大北小学校学校運営協議会、名護小学校学校運営協議会、名護中学校学校運営協議会、羽地中学校区学校運営協議会、東江中学校区学校運営協議会、大宮中学校区学校運営協議会、屋部中学校区学校運営協議会、久辺中学校区学校運営協議会

活動の概要

【授業】

～総合学習～

- ・自然体験学習(磯歩き、カヤック、川探検、マングローブ観察など)
- ・地域学習フィールドワーク ・平和学習講話
- ・課題解決型学習および商品開発 ・福祉体験学習

～教科のサポート・見守り～

- ・体育(タグラグビー、ハンドボール、水泳) ・家庭科(魚捌き体験)
- ・生活科(昔遊び授業の講師) ・技術(プログラミング学習)

～キャリア教育～

- ・ジョブシャドウイング ・職場体験学習 ・マナー講座 ・職業人講話
- ・語れー会 ・ライフプラン学習
- ・金融教育

【安心・安全】

- ・登下校時安全指導 ・PTA、地域住民による環境整備作業
- ・校区内パトロール ・交通安全教室 ・避難訓練(地震・津波)

【その他】

- ・朝の読み聞かせ ・部活動指導 ・放課後の居場所づくり ・校内畑づくり協働作業
- ・地域清掃 ・地域行事(豊年祭・運動会)や交流会への参加 ・エイサー衣装づくり



高校生による平和学習
(紙芝居の読み聞かせ)

◆工夫していること

- 【学校・家庭・地域】各校区CS理念やめざす子ども像を共有し、授業や地域学校協働活動に取り組んでいる。
- 【学校運営協議会】校区内の地域教育資源や地域人材の共有、リストの作成・更新を行った。
- 【学校・地域】お互いの様子を知るため地域連携カレンダーを作成し、行事等の情報を共有している。
- 【教委】統括地域学校協働活動推進員の配置・各校担当の推進員を委嘱し、情報交換や研修を行っている。

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【学校】新しい地域学校協働活動の取組が増え、地域の協力者の発掘ができた。
- 【学校】「総合的な学習の時間」において地域の資源や人材の活用が進んだ。
- 【学校】中学校区での学びの系統性や連続性が意識されるようになり、小中・小小が連携した取組が行われるようになった。
- ☆【地域学校協働活動推進員】学校との情報共有や地域連携にかかる定期的な調整の場の設定
- ☆【学校運営協議会】地域学校協働活動の体制づくり(児童生徒の参画を見据えた仕組み)
- ☆【教委】教職員・保護者・地域住民に対するコミュニティ・スクールの理解促進の取組(研修・熟議等)

糸満市 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

糸満市地域学校協働本部

(兼城小・糸満小・糸満南小・高嶺小・真壁小・喜屋武小・米須小・西崎小・潮平小・光洋小・兼城中・糸満中・高嶺中・三和中・西崎中・潮平中・大度分校)

活動の概要

- ・クラブ活動(手話、しまくとぅば、生け花、習字、昔遊び、イラスト、手芸、英会話、ハーレー、ダンス、バドミントン、ティボール)
- ・平和学習
- ・ミシン、ソーイング
- ・地域学習
- ・習字
- ・職業人講話
- ・昔遊び
- ・福祉学習
- ・町たんけん



職業人講話



クラブ活動(ハーレー)



地域学習



平和学習

◆工夫していること

- ・今年度より地域学校協働本部を1つにし、地域コーディネーター全員で協力し合い、各学校からの依頼に対応している。
- ・今後も継続的に協力していただきたいので、講師側への配慮にも気を付けている。
- ・メールやラインなど連絡の取りやすい方法で、ボランティアさんや学校と連絡をとるようにしている。

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【学校】専門の講師に授業へ入ってもらうことで、子ども達も積極的に活動出来てよかった。ボランティアさんと密に連絡をとり、日程等の調整をしてもらったのでとても助かった。
- 【ボ】子どもたちと触れ合える機会となり、とても楽しかった。子ども達から寄せ書きをもらい、とても嬉しかった。
- 【コ】学校の希望する講師をコーディネートでき、とてもよい授業となった。
- ☆【教委・コ】新規ボランティアの発掘
- ☆【教委】地域コーディネーターの予算の確保

沖縄市 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

越来小学校地域学校協働本部 他23地域学校協働本部
(コザ小学校、中の町小学校、安慶田小学校、諸見小学校、島袋小学校、山内小学校、北美小学校、美里小学校、美東小学校、宮里小学校、高原小学校、室川小学校、美原小学校、泡瀬小学校、比屋根小学校、越来中学校、コザ中学校、山内中学校、美里中学校、美東中学校、安慶田中学校、宮里中学校、沖縄東中学校)

活動の概要

- ◎運動会や体育祭等での青年会や保護者ボランティアによるエイサー指導や地謡、着付け、メイク〈越来小・中の町小・島袋小・山内小・室川小・越来中・山内中・安慶田中・宮里中〉
- ◎朝の交通安全指導、クラブ指導、読み聞かせ、授業補助、環境美化等〈各校〉
- ◎ふれあい農園の運営〈コザ小〉 ◎水難事故防止「浮いて待て」の講習〈中の町小〉 ◎プール見守り〈各校〉
- ◎1年生給食準備手伝い〈各校〉 ◎キャリア授業〈諸見小・美里中・美東中〉
- ◎卒業生へ生花コサージュ作成指導〈島袋小〉◎宿泊学習・ナイトウォークラリー・街探検等見守り〈各校〉
- ◎避難訓練安全見守り・鳥刺舞指導・ゼッケン修繕〈高原小〉 ◎感謝集会でのボランティア表彰〈各校〉
- ◎朝食支援〈比屋根〉 ◎制服・ジャージのリユース〈山内中・美里中・沖縄東中〉 ◎手話・落語講座〈山内中〉
- ◎3年生進路学習として模擬面接・マナー講座等〈山内中・美東中・宮里中・沖縄東中〉
- ◎ボランティア新聞を作成し、スクリレや学校掲示板、ホームページ等で発信〈美東中・山内中・沖縄東中〉
- ◎琉球大学学生、保護者のボランティアによる数学学習支援〈美東中〉
- ◎外部講師による金銭教育授業(ソニー生命)〈越来中〉



〈朝食支援/比屋根小〉



〈エイサーの着付け〉



〈土曜塾/美東中〉



〈環境整備〉

◆工夫していること

- ◎各学校・団体との緊密な連携を行うため職員やスタッフ、ボランティアの方たちと定期的に情報交換会を開いている。
- ◎ボランティア募集や行事予定(自治会イベントや読み聞かせ等)をスクリレで発信し周知を行っている。
- ◎小学校・中学校合同で学校と交通安全指導の方との情報交換会を新学期の4月に行うことで学校周辺道路について意見交換、情報の共有を行い安心・安全に繋がっている。
- ◎学校と地域の連携を図るため、定期的に自治会を訪問し行事への協力につなげている。
- ◎感謝集会を開催し、ボランティアさんへ児童手作りの感謝状を贈呈している。
- ◎徴収袋やクリアファイル等にボランティア募集広告を印刷し啓蒙活動を行っている。
- ◎ボランティア・生徒・保護者との共同で季節の装飾を行い交流を図っている。

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【学・コ】交通安全ボランティアとの意見交換会を行い情報共有することで、スクールゾーンの違法進入車が減少した。(7時30分～8時30分)
- 【学】推進員と担任が連携し、外部人材を活用した授業が増えたことで、子ども達や教職員が地域との繋がりをより深めたり、様々な分野で見聞や体験を広げることができた。また、教職員の働き方改革にも効果があった。
- 【学】推進員が中心となって、学校・保護者・自治会・青年会・地域の連携に繋げ、諸行事のサポート体制を構築することができた。
- 【コ】ボランティア活動後の意見交換会・交流会により、内容の情報共有や改善策の検討が行われ、次回活動への質の向上と新規ボランティアの継続的な確保に繋がっている。
- ☆【コ】校区内だけでなく、広域な地域住民を対象としたボランティア参加促進策を講じ、活動の担い手を多様化させる必要がある。
- ☆【学】地域の方が時間を割いてくださることに対して、子ども達の感謝の気持ちや地域社会への関心・愛情が深まる効果を期待している。
- ☆【コ】ボランティアが高齢化しているので、PTAのボランティアも含め、若い方にも参加してもらいたい協力してくれる人材の確保が難しい。

豊見城市 地域学校協働活動

地域学校協働活動本部名

豊見城市地域学校協働本部

市内8小学校・4中学校

(上田小、長嶺小、座安小、豊見城小、伊良波小、とよみ小、豊崎小、ゆたか小、豊見城中、長嶺中、伊良波中、豊崎中)

活動の概要

- クラブ活動の講師(三線、折り紙、書道、昔遊び、しまくとぅば、英語、サッカー、陸上、イラスト、五色百人一首、ウクレレ、手話、音楽、琉球舞踊、空手、エイサー、ものづくり、リサイクル工作、和太鼓)
- 地域講話(豊見城市を知る)
- 町たんけん受け入れ
- 平和講話
- ミシン指導
- 水泳見守り
- 児童の登校後の見守り・授業中の見守り
- 環境美化(花壇の手入れ等)
- 朝の交通安全指導
- 書写指導、書初め会指導
- 沖縄県の良さ発信
- じゃがいも・野菜植え付け指導又は講話
- しまくとぅば講話
- 茶道体験(特別支援クラス)
- 大学生による学習支援
- 外国からの転入生への学習支援
- 市内巡りガイド
- 職業講話
- 市の特産物に関する講話
- 木工の補助
- サッカー教室



5年 職業講話(放射線技師)



5年 沖縄の良さ発信(三線)

◆工夫していること

【学校】

- 年間計画をもとに、学校職員に積極的にボランティアの活用を呼びかけ、計画的に連絡や調整を行っている。
- 日常の学習や学校行事と関連づけながら取り組めるようにしている。
- 地域の方々が入ってきやすい雰囲気作りを心掛けている。

【本部】

- 活動継続のため、学校とボランティア調整を綿密に行った。
- 教育委員会主催のボランティア研修会及び感謝の会を開催した。
- 生涯学習フェスティバルや公民館の掲示コーナーで、活動紹介を行い事業周知につなげた。
- 学校ボランティア依頼書の新様式の作成、また新たに学校ボランティア依頼のフローチャート図を作成して学校の事務負担を減らすようにした。

成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【学校】高い技術指導もあって、学習面以外でも助かっている。子どもたちが学習や活動に対して意欲的に取り組むことができ、教師の負担軽減にもつながった。
- 【学校】朝の交通安全指導では、生徒の安全を守ることにつながっている。
- 【学校】困っている児童らへの声掛けや指導があって大変助かっている。地域の方々と触れ合うことで、感謝の念など豊かな心の育成につながった。
- ☆【学校】クラブ活動の時間をもっと確保したいが、教科時数との兼ね合いもあり厳しいところもある。
- ☆【学校】帰国子女に対する日本語学習支援において、指導のカリキュラムがなく、学習内容や教材などの準備に困った。
- ☆【本部】内容によってボランティアを確保するのが難しく、依頼に応えられない場合がある。